

平成29年度 病害虫発生予察情報(美濃地域) 9月予報

【 水稲 】

いもち病 (穂いもち)

8月中旬の曇雨天により、出穂期を迎えている一部の晩生品種では上位葉に葉いもちの発生が確認されました。今後の天候によっては穂いもちの多発が懸念されることから、出穂期の防除は確実に実施してください。

【 大豆・野菜類 】

ハスモンヨトウ

フェロモントラップへの誘殺数は西濃及び東濃地域で平年よりやや多く、中濃地域で平年並に推移しています(図1~3参照)。8月下旬に西濃地域の大豆ほ場で若齢幼虫による白変葉数は、平年より少ない状況にありましたが、今後もほ場での発生状況に注意し、効果の高い若齢幼虫期に防除を実施してください。

【 野菜類 】

トマト灰色かび病

8月中旬の天候不順により、葉先枯れ部や花がら等に発生が認められました。今後、曇雨天が続くと、罹病部位から果実に感染が拡大すると予想されます。発生が確認されたほ場では直ちに対策を実施してください。

○主な病害虫の発生時期及び防除時期(9月)

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項	
			1旬	2旬	3旬	4旬	5旬	6旬		
水稲	生育(ハツシモ)	並							・8/16調査(6/12田植:農業技術センター)	
	穂いもち	やや多	<発生最盛期>						・ <u>穂いもち</u> 穂ばらみ期~穂ぞろい期に防除を実施する。	
	トビイロウンカ	少								
	岐阜西濃 ツマグロヨコバイ	やや少		<第4世代幼虫>						・ <u>ツマグロヨコバイ</u> 幼虫最盛期に防除を実施する。
	中濃	少				<第4世代幼虫>				
	斑点米カメムシ類	やや多	本田への侵入(出穂以降)						・ <u>斑点米カメムシ類</u> 穂ぞろい期~乳熟期に防除を実施する。	
	防除適期		▲ ~ ▲穂いもち・斑点米カメムシ類・ツマグロヨコバイ							
大豆	生育(フクユタカ)	並		<着莢>					・8/16調査(7/13は種:農業技術センター)	
	カメムシ類	並	本ほへの侵入(着莢期以降)						・ <u>カメムシ類</u> 着莢期から子実肥大期に防除する。	
	ハスモンヨトウ	やや多	<発生量増加>						・ <u>ハスモンヨトウ</u> 白変葉が初見したら直ちに防除する。	
	防除適期									
カキ	岐阜西濃 ハマキムシ類	やや多					<第4世代幼虫>		・幼虫発生初期の防除を徹底する。	
	中濃	やや少							・着色始期までに防除を実施する。	
	防除適期									
ナシ	黒星病	やや多				<発生量増加>			・ <u>黒星病</u> 収穫後の秋期防除を徹底する。	
	防除適期		▲黒星病 ~							
果樹	カメムシ類	多	<新世代成虫>						・飛来が認められる場合は直ちに防除を実施する。	
	防除適期									
野菜・花き	灰色かび病	やや多	<発生量増加>						・同一系統薬剤の連用は避ける(薬剤耐性および抵抗性の発達)。	
	ハスモンヨトウ	並	<発生量増加>							
	タバコガ類	並	<発生量増加>						・ <u>灰色かび病</u> 花がらや葉先枯れは感染源となるため取り除く。	
	コナジラミ類	少							・ <u>ハスモンヨトウ・タバコガ類</u> 若齢幼虫期の防除を徹底する。	
	アザミウマ類	並							・ <u>コナジラミ・アザミウマ類</u> 施設栽培では虫媒性ウイルスへの感染防止のため、防虫ネット展開による侵入防止と定植時の粒剤施用を徹底する。	
		防除適期								

注1) ▲、▲~▲: 防除適期

注2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注3) 用語の定義及び基準については「発生予察事業の調査実施基準」に準ずる

灰色かび病（夏秋トマト）

8月下旬の発病状況調査では、8月上旬の調査時より発生量が増加して、ゴーストスポットを含む発病果率は中濃地域で29.9%、東濃地域で20.5%と平年並に推移しています（表）。

本病は20℃前後の比較的低温で90%以上の高湿度が連続すると蔓延が著しくなります。1ヶ月予報では、日照時間、降水量ともに平年並と予想されていますが、秋雨前線による影響も考えられることから、発生が増加することも想定されます。

本病は花がらや葉先枯れ部などの枯死した部分に大量に胞子を形成するので、枯死部は早めに取り除くとともに、曇天が続く場合は、薬剤により、防除を実施してください。

表 トマト灰色かび病発生状況調査（中濃および東濃地域）

調査地点	発病果率 (%)						
	8月上旬			8月下旬			
	発病果計	腐敗果計	ゴーストスポット果	発病果計	腐敗果計	ゴーストスポット果	
中濃地域	郡上市	0	0	0	26.3	4.3	22.0
	白川町	0.8	0	0.8	33.4	0.0	33.4
	平均	0.4	0	0.4	29.9	2.2	27.7
東濃地域	中津川市①	0	0	0	21.3	0	21.3
	中津川市②	0	0	0	0	0	0
	恵那市	3.5	0	3.5	40.1	0.3	39.8
	平均	1.2	0	1.2	20.5	0.1	20.4

ハスモンヨトウ（大豆）

各地域に設置したフェロモントラップでの誘殺数は7月に入り増加がみられ、西濃地域及び東濃地域では平年より多く推移しています（図1、3）。また、若齢幼虫の食害による白変葉は、西濃地域で8月下旬調査で確認しました。

今後の気象は、降水量は平年並、気温は平年並または高いと予報され、本虫の発生に好適な条件が続きます。

ほ場での発生状況に十分注意し、若齢幼虫期に防除を実施してください。

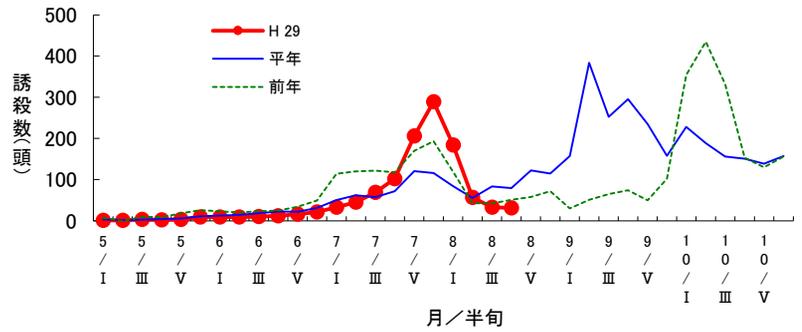


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウ誘殺数の推移（海津町平原）

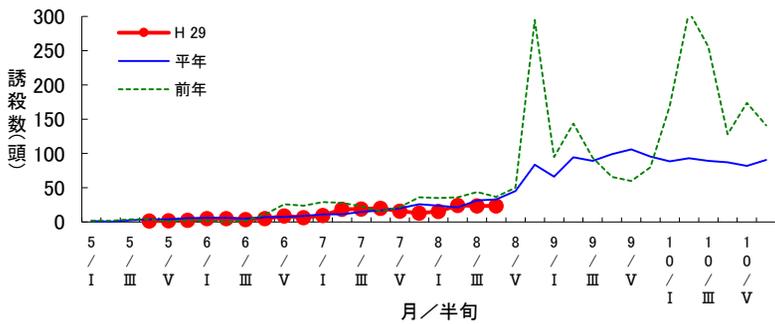


図2 フェロモントラップによるハスモンヨトウ誘殺数の推移（可児市川合）

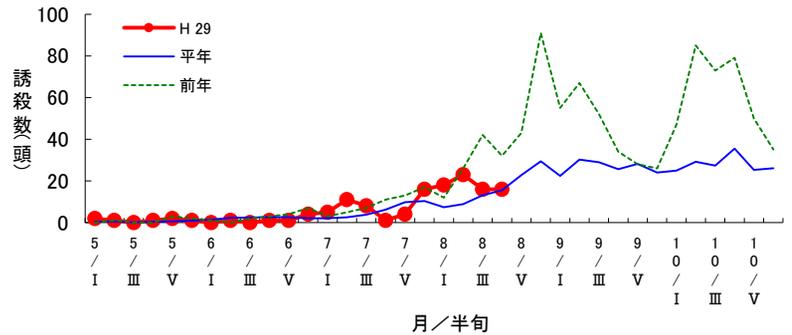


図3 フェロモントラップによるハスモンヨトウ誘殺数の推移（中津川市福岡）

農薬の安全使用に努めましょう！！

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

東海地方1ヶ月予報(名古屋地方気象台 8月31日発表)

向こう1ヶ月の天候は、気温は平年並または高く、降水量は平年並、日照時間は平年並の見込みです。天気は、数日の周期で変わる見込みです。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767